

## 依頼会員Tさんと提供会員の声をご紹介します！！

### キーワードは、夫のために！！



Tさんは、妻との生活を考える為、地域包括支援センター（以後センターと略）に相談しました。

- ・妻は、軽度認知障害の診断を受けています。会話が上手くかみ合いません。
- ・いつものように買い物に出かけ、毎日似たような食事を作ります。
- ・自分のためにサービスを利用する事は受け入れないと思います。

センターから助言を受け、Tさんから妻に「Tさんの食べたいものを提供会員と一緒につくってほしい」「契約者はTさん」であること説明し、この事業を利用することにしました。

### 妻の楽しみとTさんの休息時間が増えました



提供会員の加藤さんと一緒にご飯を作った日は、品数も多いし、ご飯もおいしいです。また、ちょっとしたオシャレをして、加藤さんを待っているのも楽しみでした。



加藤さんが来てくれる時間は、妻と離れられる時間でした。ほんのわずかでも自分の時間を持てたおかげで、妻に対して優しく出来たことは大変嬉しく思います。また、加藤さんとお話してきたで、私の気分転換にもなりました。

### 今、伝えたいこと

現在、妻は、「カフェすずかけ」をきっかけに出来た友人と同じ施設に入居しています。Tさん及び家族としては、「もう少し自宅で見られたのではないか」という想いと「気持ちが楽になった」という想いが混同しています。ですが、本当にこれまで支えていただいた地域包括支援センターの皆さん、提供会員の加藤さん、ありがとうございました。

そして、この事業の情報が、もっと身近に、簡単に知れたら良いなあと思います。



### 提供会員 加藤 さんに聞きました！！

私が提供会員になって、初めての活動でした。ご夫婦共に私のことを優しく明るく受け入れて頂き、大変嬉しかったことを覚えています。

奥様は、Tさんがお好きな「うま煮、または、カレーを作りたい」と希望されることが多かったことを覚えています。私は、Tさんを大切に想う奥様の気持ちに寄り添うと共に、「このようにした方が良いと思いますよ」と声をかけながら、ご支援させて頂きました。ご夫婦にとって、楽しく笑顔で過ごせる日々のお手伝いが出来たのであれば、幸いです。

色々教えて頂きありがとうございました。



### 😊担当からごあいさつ😊

日ごろから、心あたまる認知症高齢者見守り事業の活動に、皆様のご理解とご協力を頂き心から感謝申し上げます。新型コロナウイルス等の感染予防の徹底をいただきながら、本活動の継続ができますようご協力をよろしく願います。また、裏面には、依頼会員Tさんの言葉を受け、「認知症高齢者見守り事業の内容等」について掲載しております。多くの方に知って頂き、必要なときに利用して頂ければと思います。

依頼会員 T さんから、「この事業の情報が、もっと身近に、簡単に知れたらいいなあ」との声を頂いたことから、「認知症高齢者見守り事業」についてご紹介致します！！

### ○認知症高齢者見守り事業とは・・・

- ・認知症介護しているご家族等が安心して休息したりや外出したりできる時間を確保するため、提供会員（有償ボランティア）がご自宅を訪問する事業です。
- ・家族支援に重きを置いていることから、契約者は、ご家族等になります。
- ・提供会員は、ご本人（40歳以上で認知症の症状がみられる方等）が落ち着いて楽しく時間を過ごせるように見守り等を行います。具体的には、下記のとおりです。

お話し相手・・・楽しくおしゃべりします。※本などの道具を活用する事もあります。

散歩・・・外周や散歩コースなどお付き合います。

趣味活動・・・囲碁、将棋、百人一首、トランプ、カルタ、塗り絵、料理、体操など多岐にわたります。

- ・定期支援（毎週○曜日 13:00～14:00まで）、または、希望日に応じて支援することが可能です。
- ・利用料金は、以下のとおりです。直接、提供会員にお渡しください。  
1時間 500円（以後30分ごとに200円）／交通費 200円（公共交通機関の場合は実費）

### ○現在、増えている相談内容について

(1) 本事業を活用して、介護保険サービスの利用に繋がっていきたい。

ご家族の意向：認知機能や身体機能が低下しないように、介護保険サービス（デイサービス等）を利用してほしい。

ご本人の意向：自分が必要としない介護保険サービスを契約したくない。利用したくない。

本事業の関りとしては、「他人（提供会員）が自宅に訪問すること」に、ご本人が慣れていただくことから始めます。日を追うごとに、ご本人の中で、「他人とお話等することが楽しい」「色々と助けてもらってもいいんだ」と感じて頂きます。その様子と頃合いを見ながら、介護保険サービスに繋がっていきます。

(2) 介護保険サービスを利用しているが、見守る支援が不足している。

①昼食や夕食時の見守りをしてほしい

ご家族の意向：認知症の為、声かけがなければ、食事等をするのが難しい。また、楽しくお話をしてほしい。

介護保険サービスの現状：昼食や夕食時に見守れるだけの時間が足りない。食事の準備等は、介護保険サービスや配食サービス等で用意をするので、食事中的見守りと、食後のお話し相手をお願いしたい。

本事業の関わりとしては、ご本人に声かけしながら、「できあがった食事（ご家族が準備、または、配食サービス等）の準備を行う」「食事中的見守り」「食後のお話相手」を行います。ご本人が住み慣れた自宅でご過ごせるようお手伝いします。

### 令和2年度実績報告

（令和2年1月1日～12月31日）

- 依頼会員数 215名
- 提供会員数 543名
- 総援助回数 718回
- 総援助時間 1146時間45分

### 連絡先

〒070-8003 旭川市神楽3条4丁目1番18号

旭川市認知症サポートセンター 担当 藤井

（運営団体：社会福祉法人旭川市社会福祉協議会 神楽事務所）

TEL 60-1770 FAX 60-1780

E-mail: [famisapo@north.hokkai.net](mailto:famisapo@north.hokkai.net)